
大阪 Lover

美姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大阪Lover

【Nコード】

N6874Z

【作者名】

美姫

【あらすじ】

平次と和葉の日常。

高校での出来事や休日
の平次と和葉の

loveコメディ

計画実行（前書き）

平次と和葉の学校生活や休日などの小説を
書いていきます。

まだまだ初心者で書き方がおかしいかもしれませんが
読んでください（＾　＾　）

計画実行

平次は部屋で雑誌を読んでいた。

「どこにしたろうかなあゝ・・・」

雑誌を見ながら平次は何を考えているのかというと、

バイクの免許をつい最近取り、運転にも慣れてきたので

幼馴染である和葉を後ろに乗せてどこかへ連れていこうと計画していたのだ。

「そついやああいつとまだ桜見に行ってへんし京都にでも桜見に連れてったるか。」

平次はそう決めると幼馴染から貰ったお守りをぶら下げた携帯を手にし、

電話を掛けた。

）

「もしもし？平次？」

「おお俺や。お前明日暇か？」

「明日？明日はお父ちゃんとおかあちゃんと出かけるねん」

「えっ・・・」

平次は「うん。暇やけど、どうしたん？」という返事が来ると踏んでいたので
予想外の答えに少し焦った。

「でも日曜日なら暇やでえ〜」

「おおほんまか。じゃあ日曜でええから出かける準備しとけや」

「え？なんなん急に？どっか行くん？」

「おお。お前バイクに乗せてどっか連れてつたるーかなと思ったんやけど」

「えっ？！バイク乗せてくれるん！」

「おお、家まで迎えに行つたるから昼の3時に準備して待つとけや。」

「うん 分かった！楽しみにしとくわ」

一時は断られるかと思ったが無事出かける約束が出来て一安心した平次。

そして日曜日。。。

遠山家に和葉を迎えに来た平次。

「お〜い。和葉準備出来たか？」

「あつ平次待つて！今行く！！！」

平次が和葉が出てくるのを待っていると、奥から和葉のお母さんがやってきて

「平ちゃん今日は和葉どっか連れて行ってくれるんやってなあ？」

「はい。帰りちょお遅くなりますけど・・・」

「そうなん？どこまで連れてってくれるんか知らんけど平ちゃんなら安心やなあ。

運転に気い付けて和葉よろしゅうな？」

「はいっちゃんと連れて帰ってきます」

「ごめん平次！もう行けるで」

「和葉、平ちゃん、いってらっしゃい。」

「うん、おかあちゃん。行ってきます」

こうして平次と和葉は初めて2人でバイクで出かけに行った。

「平次今日はどこ連れてつてくれるん？」

「それはまだ秘密や。」

「ええ、なんや楽しみやなあ」

「それよりお前しつかり捕まっとけよ。落ちたらかなんからなあ」

「わかってるよ！でもバイクなん、乗るの初めてやから
そんなにとばさんといてや？」

「はいはい。」

「……で、うちはどこにつかまればええん？」

「は？そんな俺の腰に決まっとるやんけ！」

「ええ！！！！／／／／」

「なんやねんええ！つて！？」

「いや、なんや恥ずかしいなあ思つて……／／／／」

「／／／なに気にしとんねん！はよせんかいw」

「うっうん・・・」

和葉は恥ずかしがりながらも平次の腰に抱きついた。

「うっこれでええん？／＼」

「おお！しっかり捕まっとけよ。」

「うっうん！」

そう言って平次はバイクを走らせた。

計画実行（後書き）

初めてのバイクデート

ドキドキ・・・(前書き)

バイクを走らせた平次。

これから和葉とどんなデートになるのでしょうか？

ドキドキ・・・

和葉をバイクに乗せた平次はいつもより慎重に運転していた。

しかしバイクに乗るのが初めての和葉は少し怖くて思わず後ろから

平次にぎゅっと抱きつく力を強めた。

「なんや和葉、怖いんか？」

「うっうん。。。なんや自転車よりめっちゃ早いから怖いわ」

「当たり前やろうがwまあすぐ慣れるわ」

「うん・・・」

「（・・・なんや和葉くっつきすぎや・・・／＼／＼）」

そんな和葉に平次がドキドキしていると、

「なあ平次いっ！バイクって風が当たって気持ちええなあっ！！」

さっきまで怖がっていたのに急に慣れたのか周りの景色を見たりして楽しんでいた。

「お前さっきまでびびっとたくせしてもう慣れたんかいw」

「うん!」

「もうちょいしたら着くからな。」

「うん!」

そして15分後・・・

「着いたで。」

そこは京都で平次が和葉に一目惚れしたあの神社。

「わああ!!!平次!桜めっちゃ綺麗に咲いとるでえ!」

「お前桜好きやからここにしたんや。」

「そおなん?ありがとお」

とても嬉しそうに桜を見る和葉を見て嬉しくなる平次。

すると平次が和葉の手を取り、

「人多いからな。はぐれんなや」

と、そっぽを向きながら言った。

「うん・・・／＼／」

そんな平次にドキッとさせられる和葉だった。

ドキドキ・・・(後書き)

話の展開が超早くておかしいかもしれないんですけど・・・

このお話はこれで終わりです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6874z/>

大阪 Lover

2011年12月23日01時04分発行